

## 「沖縄における国有林との連携について」

環境省那覇自然環境事務所  
所長 植田 明浩



昨年7月に着任し、早いもので1年が過ぎましたが、沖縄森林管理署をはじめ関係機関の皆様には大変お世話になっているところです。今後も緊密な連携・協力体制を、さらに深めていきたいと考えています。

環境省那覇自然環境事務所では環境に対する国民の意識が高まりつつある今日、かりゆしウェアを積極的に取り入れたスーパーカールビズを始め、エアコンを控えるなどの率先行動に取り組んでいるところです。また、事務所をあげてエコドライブ宣言を行い、燃料費の削減、交通安全、CO2 排出量削減などに取り組んでいるところであり、皆さんが同じ意識を持ち一緒に取り組んでいくことが大切だと思っています。バスやゆいレールなどの公共交通機関や自転車によるエコな移動（スマートムーヴ）を積極的に取り入れていくことも推進したいと思います。

国有林と密接な事業として、本年度は西表島の西表縦走線道路（歩道）の整備を実施する予定です。毎年、環境省の主催で沖縄森林管理署、西表森林環境保全ふれあいセンターをはじめ、その他関係機関と「西表島横断道適正利用推進協議会」を開催し、その協議会の中で環境省が管理及び整備を行うことで決定いたしました。近年の観光客数の増加に伴い当該歩道利用者数が増加していることから、利用者の安全を確保するため、既設の老朽化した案内板の立替及び道標や指標の新設といった整備内容です。

西表縦走線道路（歩道）は、我が国で唯一といえる亜熱帯のロングトレイルで、原始性の高い当該歩道を全国の見本となるよう整備したいと考えているところです。

西表縦走線道路（歩道）は全て国有林野ですが、沖縄森林管理署から土地をお借りして、今後も森林管理署のご協力を得ながら、原始性の高い亜熱帯性常緑広葉照葉樹林や希少野生動植物の自然保護の観点からも西表縦走線道路（歩道）の整備及び管理を徹底してまいりたいと存じます。

沖縄県の森林には、希少な野生動植物が数多く生息することから、近年、生態系保全の気運が高まり、特に西表島の国立公園の拡張や世界自然遺産への登録、沖縄本島北部地域（やんばる地区）については、国立公園の指定や世界自然遺産への登録等が求められつつあります。今後も林野庁（森林管理署）の森林生態系保護地域の検討等と密接に連携することはもちろん、地元関係者、関係機関等と調整を行い、世界自然遺産としての推薦に向けた条件整備に努めてまいりたいと考えていますので、ご指導・ご協力をよろしくお願い致します。